

# シイタケ KS31

培養温度：20～23℃  
発生温度：10～20℃

培養80日頃から発生操作可能！

\*積算温度目安：1,600～2,000℃  
\*初めての場合、「試しカット」をお薦めします。

発茸能力が高く、生産しやすい！

\*過培養した場合、多発する可能性があります。  
\*2回目以降も発茸しやすい傾向があります。

発茸数やや多く中～大玉でパックにも適！

\*発生個数によって大きさは異なります。

きのこは、やや硬めで色味が明るい！

\*KS21と比較して硬めです。

菌床が硬めで、長持ちしやすい！

\*培地や栽培条件によって異なる場合があります。



1 番発生



2 番発生

\*当社2.5kg菌床75日培養（チップ50%）

## ■管理目安

培養期間	目安 2.7Kg菌床 80～90日 1.3Kg菌床 70～80日 *樹種、栽培条件等によって期間が異なる場合があります。 *芽数が必要な場合は、1週間程度を目安に追熟させてください。
培養温度	20～23℃
発生温度	10～20℃ 例) 15～17℃一定、12～20℃変温

- 樹種、チップ割合、その他の栽培条件により、培養期間が異なる場合があります。（初めて発生させる方は、試しカットすることをお薦めします。）
- 栽培袋は、通気性の高いものを使用することをお薦めします。
- 培養期間中は、暗黒下での管理は避けてください。（照射目安：2～8時間程度・10～100Lx程度）
- 休養期間中は、22～24℃で散水（確実に菌床内に加水）しながら約2週間管理して下さい。
- 発生処理は、注水又は浸水が可能です。